

横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

SAKURA

Since 2013



Vol.18
7・8月号

私は、「わたし」に会いにゆく。さくらプラザで、逢いましょう。



山崎 千裕



大萩 康司



佐藤 采香(ぱんだウインドオーケストラ団長)

彼・彼女たちが追い求め続ける 音楽の魅力に迫る！

== INDEX ==

Pick Up Artist

山崎 千裕

こぱんだウインドアンサンブル

SAKURA ONLY KNOWS

大萩 康司

さくらプラザ自主事業レポート ピアノグランプリ

「真夏のこども探険隊」の楽しみ方教えます！

連載

さくらプラザ館長の『東へ西へ』

戸塚出身！ソプラノ歌手 市原 愛の「歌の翼に」
出張！ THE LEAPS の行つたるチャン！

さくらプラザ User's Voice

さくらプラザ特待生による コンサート・レビュー

男は背中で物語る 戸塚見返親仁

出張！ 戸塚新聞



トランペット奏者 やまざき ちひろ 山崎千裕

音楽を続けていくのなら「プロになるしかない」

みんなで演奏するからこそその楽しさに魅了された山崎千裕さん。

これまでの道のりと共に、どういったところで「楽しい」と感じるのかなど、たくさんのお話を伺いました。

—トランペットを始めたきっかけを教えてください。

中学生のとき吹奏楽部に入ったのがきっかけです。楽器を決めるときに最初はフルートを選んだんですけど、組み立て方を間違えたのかキーをおさえる指が届かなくて音が出ませんでした……。それで指が届くこのトランペットを発見しました！（笑）運命の出会いでした。部活自体も全国大会を目指す熱意ある先生のもと学ぶことができたので、すごくハマりましたね。中学校の思い出は部活しかないですね！（笑）

—高校生活での思い出はいかがですか？

挫折しました（笑）。東京藝術大学附属高等学校に進学したのですが、クラスメイトは全国から「プロのクラシックプレイヤーになる！」という決意を持った人たちの集まりだったので、気おされちゃいました。私はみんなで楽しく、部活のように「みんなで一つの音楽を作りたい！」と思っていたのです。

ただ、クラスメイトも良い人たちばかりでしたし素晴らしい先生もいらっしゃったので、自分さえ「プロになるぞ！」という思いを持っていれば有り難い環境だったと思うのですが、当時はキツかったです。それでも諦めなかつたのは、やっぱり音楽が好きだったからなんでしょうね。

—プロになろうと思ったのはいつ頃ですか？

高校の時点で「自分には音楽しかない」と思っていましたし、音楽を続けていくのなら「プロになるしかない」と思っていましたね。学校に通うためにはトランペットを頑張らないと意味がないので、毎日トランペットと一緒にでした。そういった恵まれた環境にいたので、迷いはなく、自然とういました。



—大学まではクラシックを学ばれていたということですが、どのような経緯で今の演奏スタイルに行きつきましたか？

これまで「クラシックを学んでいるので……」と断っていた仕事を受けるようになったのがきっかけです。その仕事というのがポップスのレコーディングやミュージカルだったのですが、こんなにもトランペットを使った音楽・ジャンルがあったんだと初めて知りました！（笑）それとともに、中学生時代に吹奏楽をしていたとき色々なジャンルの曲を演奏できることができたことを思い出して、「ああ、私はこれが好きだったんだ。」と改めて感じましたね。

学校で何百年も前の作曲家の時代背景を研究していたのですが、ベートーヴェンでもハイドンでもその時代に“一番言いたいこと”や“一番流行っているポピュラーな音楽”を書いていたことがわかりました。それで私も、今の気持ちを音楽にしてみたいな、と思ったのが始まりで自分のバンドを結成しました。

—それが「山崎千裕 +ROUTE14band」ですね。

もともとポップスのバック演奏などをしていたバンドなのですが、そのバンドのヴォーカルが抜けるというタイミングで「私と3ヶ月だけ一緒にやろうよ！」と声をかけて始まりました（笑）。

バンド名は、私以外のみんなが川崎市にある県道14号線沿いに住んでいたのでこの名前にしました（笑）。

—バンドを結成して何かご自身に変化はありましたか？

音と感情がリンクするようになりましたね。今まででは作曲家がどう考えているかを汲み取って「こんな感じだろう」という研究結果と自分の今の表現方法を合わせていたんですけど、（自分たちで作曲した曲に）直接感情を乗せることができるのはとても楽しいことだと素直に感じました。

私のモットーは、“歌をうたうように感情を乗せて、そのまま聴いている人に届く演奏をする”ことなので今のスタイルは気に入っていますね。

—バンド結成後は海外でも活動されていますね。

私たちのバンドは歌詞がないので世界中で出来る可能性があるんじゃないかなと思いま、レパートリーは5曲しかなかったのですが、結成半年でロサンゼルスツアーを組んでみました（笑）。

言葉の通じない海外の人に自分たちの音楽が通じたとき、メンバーも「楽しい、これでいいんだ」と思ってくれて、3ヶ月限定のバンドがもう5年目になりました。それからは毎年海外ツアーを行っています。

—バンドのテーマを教えてください。

“歌えるインストゥルメンタルバンド”がテーマです。インストゥルメンタルバンドというと口ずさむには少し難しいメロディーが多いので、みんなが思わず口ずさむような歌える曲を作りたいと思っています。私はトランペットですが、ヴォーカルのような感覚ですね。

—今後の活躍も楽しみですね。

これからもっと楽しいことをするには、楽しい仲間を増やしていくべきかなと思っています。色々なバージョンでお届けできるとともに、バンドの違う色がたくさん出たらいいなと思います。

ちなみにプロフィール写真やPV（プロモーションビデオ）もすべてメンバーで制作しているのですが、そのほかにメンバーでレストランの経営もしているんです（笑）。不思議なバンドだと思うんですけど、みんな楽しいことがしたい、というだけですね。

—今回（8月27日）のプログラムについて教えてください。

トランペットの曲と言えば二二・ロッソさんの『夜空のトランペット』だと思い、公演のタイトルに入れました。冒頭のメロディーは軍隊のトランペット（信号ラッパ）で演奏する「消灯」の合図がモチーフになっているんですよ。クラシックしか勉強していなかった頃はこの曲自体知らなかったんですけど、今は自分の曲のように吹いています（笑）。

あとはバンドで初めて作った『Japan』という曲を演奏します。『if』、『にんじん』という曲も最初の頃に作った曲ですね。



全体のプログラムは前半が朝から昼、後半は夜をイメージして、時間の流れを感じられる曲順になっています。

—最後にお客さまへのメッセージをお願いします。

皆さんご存知の名曲『夜空のトランペット』やチャイコフスキーアクセ『花のワルツ』なども演奏しますので、私たちの演奏を聴くのが初めてという方も、是非いらしてください。

一緒に時間の流れとエナジーを体感しましょう♪ お待ちしています！

（取材・文：石村里美）



山崎千裕 +ROUTE14band

2010年夏、トランペッタ山崎千裕を中心に、ドラム山下智、ベース山本浩二、キーボード高見英、ギターMizで結成。「インストポップ」をテーマに、ジャズ、フュージョン、クラシック、ロックなど、多種多様なジャンルをミックスした印象に残る「歌えるインストゥルメンタルサウンド」は唯一無二。結成から半年で、単独ロサンゼルスツアーを敢行。各所で大盛況となり、海外での手応えを得る。

これ迄に、4枚のオリジナルアルバム、1枚のライブDVDが発売されており、2013年より韓国のJinuRockEntertainment、2014年よりイギリスのPlaza Mayor Company Ltdと配信契約を結んでいる。

そして、2014年2月山崎千裕がソニーミュージックアーティスツよりメジャー・デビュー。SXSW2014、SXSW2015、SXSW2016と4年連続出演、テキサスツアー10公演を果たした。

■[山崎千裕 +ROUTE14band] オフィシャルホームページ

<http://route14band.com/>

■[山崎千裕] オフィシャルホームページ

<http://y-chihiro.com/>

【ホールツアー日程】

8月27日(土)さくらプラザ・ホール

10月1日(土)THEATRE 1010(シアターセンジュ／ミニシアター)

10月23日(日)奈良学園前ホール



2016年8月27日(土) 山崎千裕+ROUTE14band ~夜空のトランペット~ * 詳細は裏表紙をご覧ください

新進気鋭の若手吹奏楽団 こばんだウインドアンサンブル

音楽をいっぱい心で感じてもらえたなら幸せです♪

「ばんだウインドオーケストラ」のメンバーによる小編成アンサンブル「こばんだウインドアンサンブル」の皆さん、さくら

プラザ・オープンデー2016にてスペシャルステージをお贈りします！

メンバーの中から、団長の佐藤采香（さとうあやか）さん、戸塚高校出身の小山桜（こやまさくら）さんのお二人にお話を伺

いました。

—「ばんだウインドオーケストラ」は東京藝術大学在学中に結成されたとお聞きしていますが、なぜ吹奏楽団を作ろうと思ったのですか？

佐藤：管打楽器専攻の1年生全員で吹奏樂をする「管打合奏」という授業があったのですが、なにしろ全員でやるので、メンバーはアンバランス…。普通の吹奏樂編成だと2人くらいのオーボエが5人いたり、フルートも7人いたり。楽器によって人数がぐちゃぐちゃだったんですけど、それでもみんなでやるのがすごく楽しかったのです。

実は大学生になるまで吹奏樂を楽しいと思ったことはなくで…そんな私ですが、管打合奏のときに大層感動したんです（笑）。

空間が音の海みたいになって、自分の出番になるとその波にスッと入っていく気持良さに、すっかり吹奏樂のとりこになりました。そして1年間ご指導いただいた元神奈川フィル・ホルン奏者の大橋晃一さんからもたくさんの刺激をいただき、この1年だけお別れをするのは悲しい、これだけで終わらせたくない、とすごく思つたんです。

あとは、「吹奏樂コンクール」にいそしんでる中高生を教える機会をいくつかいただいた時、吹奏樂コンクールに向けて燃えていた自分を思い出したのもありますね。

メンバーの上野耕平（サクソフォン）も同じ思いを持っていて、方向性を統一してがんばろうと結成しました。

小山：私は一つ下の学年ですが参加しています。

学校の中で関係を築いた人達と音楽をやると、社会に出てから初めてお会いした方と音楽をやるのは全然心持ちが違いますし、すごく深いところまで気のかけない仲間に話をしながら作り上げていくのが楽しいです。



小山 桜さん(ホルン)

佐藤 采香さん(ユーフォニアム)



—佐藤さんは団長さんですが、どうやって決まったのですか？

小山：全員の投票で決まりました。ユーフォニアム界で注目されている一番のホープ佐藤さんだからこそ、熱い思いも持ち合わせていらっしゃいますし、説得力がある。柔らかくてリラックスした中に、みんなを引き付ける力がある方です。

佐藤：自分だけでは何もできないので、みんなに助けてもらっています。

—今回は小編成の「こばんだウインドアンサンブル」での公演となります。こばんだは今までどのようなイベントに出演されましたか？

佐藤：昨年、上野動物園での「パンダの日」イベントの一環で「パンダステイックステージ」に出演させていただきました。

小山：クラシックと違って、親しみやすいプログラムで雰囲気も底抜けに明るい感じだったので、子どもたちがキヤーキヤー騒いじゃって。年齢層が低い子どもたちの前で演奏させていただくのは、特別な感じでした。

佐藤：まだ音楽のことも何も知らない子どもたちに、ばんだが「音楽との出会い」「音楽を紹介」することができて嬉しかったです。

—他の楽団にも負けない、とておきの特徴を教えてください。

佐藤：今、いろいろなものを吸収して自分の成長につなげていける、メンバー全員がそういう時期だと思います。とにかく良いものを出したいという熱い思いが溢れている私たちです。

小山：吹奏樂はクラシック音楽の中では歴史が浅いので親しみやすいけれど、それだけではない、というところをお見せできればと思っています。

—スペシャルステージの依頼を受けたとき、どのようなお気持ちでしたか？

佐藤：吹奏樂は、クラシックからポップス、ジャズなど幅広いジャンルに取り組めます。私たちはまだ歩み出したばかりで、こんな大きな舞台での挑戦ができるのは嬉しいし、楽しみです。がんばろうって燃えています！

—夏休みファミリーコンサートでは、どのような曲を演奏されますか？

佐藤：クラシック曲ばかりにせず、吹奏樂で良く演奏される曲・管楽器の曲をメインに選びました。楽器だけでいろいろな世界観を表現したいし、クラシックの名曲でなくても世界観を感じ取っていただきたいです。お話よりも音楽の方が感じ取る側に自由があるので、いろいろな想像力を駆使して聴いていただければ嬉しいです。

—楽器体験コーナーに参加してくれる子どもたちに感じてもらいたいことはありますか？

小山：実際に目の前で見て、吹いてみるだけで、体験した子にはだいぶインパクトがありますよね。私は小学校4年生の時にホルンを始めたのですが、「やろう」と思ったのは、地元のプラスバンドに遊びに行って吹いたときに、お姉さんが「すごい！」って言ってくれたのがきっかけです。褒められて調子にのったんですね（笑）。

だけど、とにかく楽しくて！ちょっと吹くだけで普段しゃべる声より、とても大きな音が出て、非日常というのか、ダイナミックなのが衝撃的で、ホルンを続けたいと思いました。あとは、ホルンの形。可愛いですよね、そこにも惹かれました。

私が体験したような楽しい思い出を子どもたちの中にも残していくたら幸せです。

佐藤：夏休みの特別な思い出になるかな～、絵日記に書いてくれるかな～、将来音楽が好きになるとか、楽器に興味を持つきっかけになってくれれば嬉しいですよね。



2016年7月23日(土) こばんだウインドアンサンブル「夏休みファミリーコンサート」～音楽でめぐるワクワク世界旅行～

★楽器の体験コーナー★ チケットを買ってくれたこばんだ(4~12歳まで)のみんなは、ロビー開場時間へ開演時間まで、ホワイエでいろんな楽器の体験が出来るよ♪ 【協力：株式会社ヤマハミュージッククリテイリング】

* 詳細は裏表紙をご覧ください



—最後に、夏休みファミリーコンサートの意気込みをお聞かせください。

佐藤：心が豊かな子どもたちが、その貴重な時間を私たちのコンサートに捧げてくれる。だからこそ素敵な時間を提供できれば良いなと思います。

その豊かな心で音楽をたくさん感じてもらえたなら幸せです。私たちは音楽の色々な面をしっかり表現できるように準備してきます。

私たちはこれから新しい時代を切り拓いていく世代なので、"年齢とともに成長ができる" "いろんなことが出来る" それが楽しみでしようがないです。

佐藤・小山：今私たちにできる最高の舞台をお届けします♪

—ありがとうございました！

(取材・文：板澤桂子)

こばんだウインドアンサンブル

2011年に結成された吹奏樂団・ばんだウインドオーケストラのメンバーによる小編成アンサンブル。楽団名は時と同じくして上野動物園にやってきたパンダに由来。メンバーは続々と国内外のコンクールで入賞を果たし、まさに次世代を担う管打楽器プレイヤーがそろう新進気鋭の若手吹奏樂団である。結成当時大学生だったオーケストラの中心メンバーは2015年に東京藝術大学を卒業し、現在はプロの演奏家として各方面で活躍中。

ばんだウインドオーケストラのためのオリジナル作品である前久保謙作曲《PANDASTIC!!》など、吹奏樂の魅力あふれる作品にこだわったプログラムで公演を重ねている。上野動物園パンダの日記念イベントや、TV朝日「題名のない音楽会」、NHK-Eテレ「らららクラシック」への出演等、幅広い活動を展開中。

2015年12月発売の「PANDASTIC!～Newest Standard」(日本コロムビア)でCDメジャーデビュー。2016年3月に山田和樹氏をゲストコンダクターに迎えて開催したCD発売記念コンサート(東京藝術大学奏楽堂)は全席完売。新時代の吹奏樂団として熱意ある活動を展開している。

佐藤 采香 Ayaka Sato (ユーフォニアム)

第9回済州プラスコンペティション2位、第32回日本管打樂器コンクール1位及び文部科学大臣賞、東京都知事賞、東京シティ・フィルハーモニック管弦樂團特別賞受賞。15年NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」に出演。

小山 桜 Sakura Koyama (ホルン)

横浜市出身。市立戸塚高校を経て東京藝術大学卒業。これまでにホルンを樋口哲生、守山光三、大野雄太、西條貴人、伴野涼介、日高剛に師事。

SAKURA ONLY KNOWS

ギタリスト
おおはぎ やすじ
大萩 康司

昨年デビュー15周年。日本国内に留まらず海外でも活躍を続けるギタリスト 大萩 康司さんに、幼き日のご自身のことやパリ留学時代、そして9月にさくらプラザホールで開催されるレクチャーコンサートについて伺いました。

一まずは、ギターを始めたきっかけを教えてください。

8歳くらいの頃、母が次男坊(私)の子育てに一段落したということで、趣味でやっていたクラシックギターを再開したんです。その姿がとても楽しそうで! 兄が始めたのを機に私も真似して「やりたい」と……そこからの始まりです。

一初めて弾いた曲を覚えていらっしゃいますか?

最初に「ド、レ、ミ、ファ、ソ」の左手ポジションと右手での弾きかたを教わり、それで弾ける曲と言ったら限りがありますよね。その時知っていた曲ですので……確か「チューリップ」や「蝶々」、「メリーサンのひつじ」などだったと思います。
どれが最初だったかは覚えていません。

一初舞台はいつでしたか?

初めて舞台に立ったのは9歳ですね。ギター教室の発表会で合奏でした。
その後ソロの曲も習うようになり、小学校では学習発表会、中学・高校では文化祭、またはコンクールなど、機会を見つけては人前で演奏していました。

一当時、憧れたアーティストはいましたか?

クラシックギターの専門誌「現代ギター」にいつも載っていた同世代の村治佳織さんや、ちょっとお兄さんの鈴木大介さん、福田進一さんなど……。
今では同じ舞台で共演させていただく機会もたくさんあります、当時は「本に載っているすごい人だ」という感覚でしかありませんでした。
当時はインターネットもありませんでしたし、田舎だとCDもごくごく少ない種類のものしか店頭に置いていませんでしたので、見るもの聞くもの全てが新鮮でした。

Yasuji Ohagi



©ピクターエンターテインメント

一“現在の自分をつくった”と感じる、幼い頃の経験はありますか?

最初のギターの先生である萩原博先生に言わされたひと言、「大萩君の一番良いと思う音を見つけなさい」という言葉はずっと心に残っています。
「良い音」ってなんだろう? と、その頃から気にするようになりました。

一留学先にパリを選んだ理由を教えてください。

留学を決めたのは高校2年の冬でした。パリはヨーロッパの中でも中心に位置し、いろいろなところへ移動しやすいということが理由になりましたね。
ギターをやっている人の多くは、音楽の基礎である「ソルフェージュ」を基礎から学び直さねばならない人がほとんどで、私も例に漏れずほとんどやっていました。
ただ、映画「のだめカンタービレ」にも登場するパリの『コンセルヴァトール国立高等音楽院』に入るためには、その「ソルフェージュ」で1次試験に受からないと2次試験の実技が受けられないので、留学する前から必死で習いに行っていました。

一パリではどのような影響を受けましたか?

19歳で渡仏となると、一番多感な時ですよね。
しかも「ど」田舎の宮崎県小林市から出てきた少年にとっては全てが影響力大でした。
言葉も人も空気も、五感で感じられるもの全てが自分にとっての栄養だったと思います。
私が2000年から演奏しているギターの製作であり楽器名にもなっている「ロベール・ブーシエ(※)」も、「生活している全ての物事は音に現れる」というようなことをおっしゃっています。それを得ようとする「好奇心」と、

戸塚のお客様へメッセージ

クラシックギターを初めてお聴きになる皆様にも楽しんでいただけるよう、パリ・コンセルヴァトール国立高等音楽院留学時代や楽器の話、CDデビューからこれまでの歩み、そしてここでしか話せない……(?)CD制作秘話まで、アットホームな空間でお話できればと思っております。

フランスという国、音楽、楽器にご興味のある方、もしかしたら質問にもお答えできるかもしれません。
どうぞふらっと散歩ついでにお立ち寄りください!



©ピクターエンターテインメント

大萩 康司 Yasuji Ohagi (ギター)

宮崎県生まれ。
高校卒業と同時に渡仏し、パリのエコール・ノルマルに入学、翌年パリ国立高等音楽院に第1位で入学。
ハバナ国際ギター・コンクールにて第2位及び審査員特別賞を受賞。
日本国内での活動に加え、欧米やアジアなど世界各地に活躍の幅を広げ、各地で熱狂的な支持を得ている。
2016年4月20日、ピクターエンターテインメントより15枚目となる新譜「天の三羽の鳥～ギターで聴く珠玉のフランス音楽～」をリリース。
第6回ホテルオーケラ賞、第18回出光音楽賞受賞。
洗足学園音楽大学客員教授。

■オフィシャルホームページ <http://www.jvcmusic.co.jp/-/Artist/A015120.html>

2016年9月10日(土) 大萩康司 CDリリース記念 特別レクチャーコンサート * 詳細は裏表紙をご覧ください

深めたいと思う「探究心」は、留学前よりも増したと思います。

一プロのギタリストとして活動する決心をされたのはいつ頃ですか?

小学4年生の頃、学校の給食の時間にクラスメートそれが夢を語るコーナーがあり、私は「ギタリストになりたい」と言いました。

公言した最初の時ですので、ズバリその時です。

一昨年デビュー15周年を迎えたが、15年間の活動の中で、ご自身の転機になった体験はありますか?

失敗→反省→発見→練習→本番→失敗……の連続ですので、常に小さな転機は訪れてます。

一瞬にして演奏が上手くなったり奇跡が起きるなんてことは、毎日の積み重ねなしにはありえないで、日々「より良くするには……。」と考えています。

一最後に、今回のプログラムの聴きどころ・魅力を教えてください。

新しいCDに収録している曲とともに、デビューしてから今までに取り組んできた曲も楽しんでいただけるところですね。

そして、できれば皆さんとの会話もあれば良いなと思っていますので、当日何か質問など浮かんできたらざっくりぱらんに教えてください。

クラシックギターの魅力が1人でも多くの方に伝わればと思います。

(構成: 桑田春花)

※ロベール・ブーシエ(ギター製作):

温かで芯が太く奥深い音、抜群の遠達性。フランス人で画家であったブーシエは、独創的で他のどのギターともまるで違う楽器を作りました。
(株式会社ギタルラ社ホームページより一部抜粋)



写真・文 田中啓介

ドリームハイツ行きのバスに乗っている。まだ5月だというのに車窓から差し込む日差しは強く、真夏日になるようだ。この分だと既になっているのかもしれない。

原宿交差点を右折してすぐ「横浜医療センター前」でバスを降りる。バスを待つ人たちが、日陰に座り、額に汗をにじませている。真夏の午後3時といった情景だ。上着がまるでサウナスーツのように熱気を閉じ込めて、暑い。

今回の目的地「ウィトリッヒの森」は、「横浜医療センター前」バス停から歩いて10分弱の所にある。原宿の商店街でペットボトルのお茶を買い、目じるしの大正中学校を目指す。黒いジャージの中学生が次々と出てくる辻を曲がると、大正中の広い校庭が見えた。

校庭を右に見ながら通り過ぎ、住宅街をしばらく歩く。真夏の日差しが容赦なく照りつける。

左手に高い壁を巡らせた広い敷地が見えた。「聖母の園」として知られる「マリアの宣教者フランチェスコ修道会戸塚修道院」の庭らしい。どこか西洋的な雰囲気をたたえている。米軍根岸住宅もそうだが、同じ日本の中にありながら、そこだけ異なる時間が流れている。全く違う時の流れを受け継ぎ、異なる時間の流れをたどっていく。

異なる時を刻むような修道院に隣接して、スイス人の技師アーノルド・ウィトリッヒさんがこよなく愛した森が広がる。



入り口の看板の横に、電話ボックスがあった。
ここもまた異なる時間が流れているのか?



石畳の歩道は、すぐに途切れ、枯葉敷く小道を森の奥へと進む。

▼QRコードを読み取ると動画がご覧いただけます▼
枯葉を踏む音、梢を吹く風、鳥の囀りをお楽しみください。



アリンコ広場でしばし休憩。鳥の囀り、梢を吹く風。時折、子どもたちの声や車の走行音が聞こえる。



この辺りには国の重要文化財に指定されていた東侯野の「旧住友家別邸」や藤沢市大鋸の「旧モーガン邸」など、昭和初期に建てられたモダニズムの影響を色濃く残した歴史的建築物があったが、残念ながら、どちらも2007年、2009年に焼失している。「旧住友家別邸」跡は、現在「侯野別邸庭園」として公開されている。同じころに建てられた旧ウィトリッヒ邸は、矢部町に移築されて今も往時の姿を遺している。



旧ウィトリッヒ邸



旧ウィトリッヒ邸全景



ウィトリッヒの森

スイスのアーノルド・ウィトリッヒさん(昭和58年死去)が、ふるさとの風景に似ていたこの森を生前こよなく愛し大切に育てたもので、奥さんの津田ひ亭さんから、昭和60年2月横浜市に寄付されました。

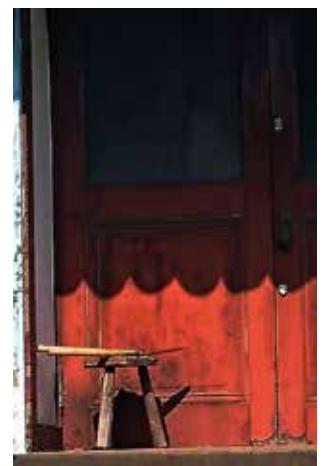
面積 31300m² / 開園 昭和62年5月

【交通案内】

- ・戸塚バスセンターから神奈中バス『ドリームランド』『ドリームハイツ』行(戸50、52)で『国立病院前』下車 徒歩7分、または『藤沢駅北口』行(戸31)で『原宿』下車 徒歩10分
- ・JR大船駅西口から神奈中バス『ドリームランド』『ドリームハイツ』『立場ターミナル』行(船21、船22、船24、船25)で『国立病院前』下車 徒歩7分

旧ウィトリッヒ邸(非公開)

所在地 戸塚区矢部町／構造・規模 木造2階建
建築年代 昭和8(1933)年頃／設計・施工 不詳



旧ウィトリッヒ邸ドア

2016年7月23日(土)開催!

真夏の こども探検隊

～ようこそ へんてこな森へ!～



さくらプラザ
4F

カードはぼくたちが
もらつたよ♪
さがしにきてねー！

じぶんのからだをつかって
物語をつくっちゃおう☆



トロピカルな楽器、
じぶんだけの
スティールパンをつくろう！

練習室④
陽だまりパン・ヴィレッジの
スティールパン・ワークショップ



マスクテープで
かべにらくがきしちゃおう！



ジャングルの
ないしょのらくがき！



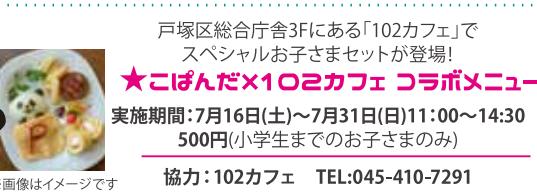
オトナも子供もたのしめる
吹奏楽スペシャルステージ！



KPA(こばんだ えあぱーと)
こばんだウインドアンサンブル
「夏休みファミリーコンサート」



お笑い芸人による
おもしろおかしい
バルーンショー！



気ままな旅人けーざけの
バルーンアート

※画像はイメージです

各イベントの開催時間・参加方法はチラシをご覧ください。

こばんだウインドアンサンブル
「夏休みファミリーコンサート」

【第1回】11:00開演 (10:00開場)

【第2回】14:00開演 (13:00開場)

全席指定 各回 ばんだ券(13歳以上) 800円

こばんだ券(4~12歳まで) 500円

ばんだこばんだ券(ばんだ1枚・こばんだ1枚) 1,000円

協力: 102カフェ TEL:045-410-7291

※画像はイメージです

さくらプラザ
3F

プラネタリウムがやってくる！
戸塚とジャングルの星空をくらべてみよう★

3F
ギャラリー
暗やみ沼ひげじきまちと見上げる
ジャングル星空さんぽ

さくらプラザオープンデー 2016
真夏のこども探検隊
～ようこそへんてこな森へ～
●日時 7/23(土)9:30～16:00
●会場 戸塚区民文化センターさくらプラザ
●料金 無料(ホール公演を除く)

おなかがすいたら、スペシャルランチはいかが？

戸塚区総合庁舎3Fにある「102カフェ」で
スペシャルお子さまセットが登場！

★こばんだ×102カフェ コラボメニュー★

実施期間: 7月16日(土)～7月31日(日)11:00～14:30

500円(小学生までの子供のみ)

協力: 102カフェ TEL:045-410-7291

※画像はイメージです

各イベントの開催時間・参加方法はチラシをご覧ください。

こばんだウインドアンサンブル
「夏休みファミリーコンサート」

【第1回】11:00開演 (10:00開場)

【第2回】14:00開演 (13:00開場)

全席指定 各回 ばんだ券(13歳以上) 800円

こばんだ券(4~12歳まで) 500円

ばんだこばんだ券(ばんだ1枚・こばんだ1枚) 1,000円

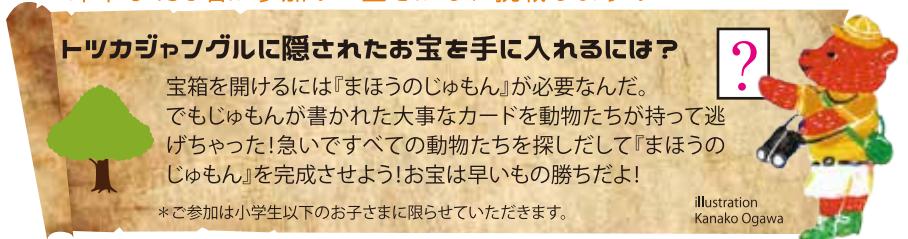
協力: 102カフェ TEL:045-410-7291

※画像はイメージです

2016年8月31日で開館3周年を迎えるさくらプラザ。
今年も夏のオープンデーを開催します！
昨年は延べ3,000人を超えるご家族にご来場いただきました。
コンサートのあとはバントマイムを体験したり……と、1日を通して
楽しいイベントが満載です。



昨年も450名が参加！ 宝さがしに挑戦しよう！



トツカジャングルに隠されたお宝を手に入れるには？

宝箱を開けるには『まほうのじゅもん』が必要なんだ。
でもじゅもんが書かれた大事なカードを動物たちが持つて逃げちゃった！ 急いですべての動物たちを探しだして『まほうのじゅもん』を完成させよう！ お宝は早いもの勝ちだよ！

*ご参加は小学生以下の子さまに限らせていただきます。

illustration
Kanako Ogawa



ピアノグランプリ 2016

2016年3月20日(日)開催
本選会場: さくらプラザホール

さくらプラザで初めて開催したピアノオーディションの結果を発表します。
たくさんのご応募をいただきまして、
ありがとうございました！

優れたピアニストとの出会いを求めて、30歳以上限定のピアノグランプリを開催しました。すでに多くの経験を重ね、コンクールの対象年齢を過ぎたピアニストに、日頃の研鑽の成果を披露する機会を提供し、その表現力の高さを競うコンペティションです。
今回予選審査から勝ち上がった15組により本選を行い、厳正なる審査の結果、下記の方が見事栄えある各賞を受賞されました。
今後も全9団体により構成された「ピアノグランプリ2016実行委員会」が、地域文化の活性化及び世界の音楽文化への貢献を目的として、辺境から世界へ新たな価値を創造し発信していきます。

◇ピアノグランプリ2016実行委員会

青葉区民文化センターフィリアホール／磯子区民文化センター杉田劇場／岩崎博物館（ゲート座記念）／神奈川区民文化センターかなっくホール／栄区民文化センターリリス／緑区民文化センターみどりアートパーク／株式会社馬車道ピアノサロン／株式会社ヤマハミュージッククリテイリング横浜店／戸塚区民文化センターさくらプラザ

◇審査員

奥村 愛さん（ヴァイオリニスト）／加藤 昌則さん（作曲家／ピアニスト）／斎藤 圭士さん（ブギ・ウギ＆ブルースピアニスト／コンポーザー）
平野 公崇さん（サクソフォニスト）／山本 貴志さん（ピアニスト）

受賞者の紹介



うえまつ ひろふみ
植松 洋史 さん

5～8歳までピアノを習い、その後は現在に至るまで独学。大学時代に入ったピアノサークル等のピアノ仲間から様々な影響を受けて今までピアノを続ける。現在は総務省に勤務。好きなアーティストは、カプースチン、上原ひろみ。



むらせ とよえ
村瀬 豊江 さん

山口県下関市出身。6才よりピアノを始める。エリザベト音楽大学ピアノ科卒業。第1回広島市新人演奏会優秀賞に選出されNHKラジオ「芸能ホール」に出演。下関市芸術祭出演。ソロ・ジョイントコンサートなどの演奏活動の傍ら後進育成に励む。

【受賞のコメント】

この賞を取ることができて、本当に心から嬉しく思います。これで終わりではなく、今後の人生でも「ずっとピアノを続けていきたい」という思いを強く抱きました。

△カプースチン：
ピアソナタ第1番 Op.39 より 第4楽章



写真右:
えふえふ しまだ ふみこ
ピアノデュオ FF (嶋田 郁子 さん・中村 美雪 さん)

2002年“ピアノデュオFF”を結成。PTNAピアノコンペティションデュオ部門最優秀賞を受賞し、褒賞としてフランスエコールノルマル音楽院ガールコレトにて演奏。数々のデュオコンクールにて受賞。アトラクトレコードよりCD“Roclassic2”をリリース。

△M. フアリヤ：2つのスペイン舞曲《はかなき人生》より



左から斎藤 圭士さん、平野 公崇さん、山本 貴志さん、村瀬 豊江さん、植松 洋史さん、嶋田 郁子さん、中村 美雪さん、奥村 愛さん、加藤 昌則さん

受賞者出演コンサートのお知らせ

ピアノグランプリ受賞記念
&
さくらプラザサポートアーティスト
新春公演

2017年1月22日(日)14:00 開演

※内容は変更になる場合がございます。
公演の詳細は9月頃公開予定です。



戸塚出身!
ソプラノ歌手・市原愛の連載コラム

歌の翼に Vol.2

ピアニスト…?!

前回のコラムを読んで下さった方は、ピアノ??と思われたかもしれません、実は、私の音楽生活の始まりはピアノだったのです。80歳を超えた現在も横浜市を中心に現役で活躍されている佐野幸枝先生の、歴史に残る劣等生ではありました（今では先生と私の間で最高の笑い話となっています！）、何とか北鎌倉女子学園中学校音楽コースに合格するまで育てて頂き、大好きだった音楽にどっぷり浸かれる中学生活をスタートすることができました。

1週間の時間割のなかに楽典、聴音、ソルフェージュ、そしてピアノのレッスンなどの専門科目が組み込まれていること、またクラス全員が音楽を専攻している（そして3年間クラス替えなし……！）という環境は少し特殊だったのかもしれません、私にとっては同じ夢、志を持った友人に囲まれた日々は刺激的でありましたし、かけがえのない一生の仲間が出来たことは、今でも最高の財産となっています。

そうそう、北鎌倉駅ですが、私が通学を始めた頃はまだ自動改札機がなかったような……！？

戸塚から電車で約10分とはいえ、ホームに降り立った瞬間、なにか流れる時間や空気すら違って感じるほど歴史の深く刻まれた場所。学園は山の頂上にあり、毎日の上下校で歩いているだけでも自然と体力がつくのでしょうか、私の場合は登校時その道のりを本当に、本当に走っていました（笑）。

（本来走ってはいけなかったかもしれません……時効ということで！）

朝は部活や日直などの当番に遅れそうになっていたことが殆どなのですが、そのお陰で随分と鍛えられました！

ドイツから2泊3日で一時帰国して歌ったり、アウグスブルク歌劇場と専属契約をしていた時に年間約70公演をこなせた事などは、間違いなく北鎌倉で培った体力の賜物だと思っています。

充実した中学生活を満喫し、そろそろ付属高校への進級試験対策が始まっていた中学3年生の秋の文化祭……そこで私の運命は大きく変わることになりました。所属していた合唱サークル部が学園の文化祭でオペレッタを上演することになり、部長を務めていた私は主役を歌うことになったのです。その演奏を当時の（付属高校を含めた）音楽科主任でいらした声楽家の児島百代先生が聞いていらっしゃって……。中学生の子供でしかなかった私の歌声に、小さな可能性を鋭く直感なさった先生が、声楽科に転向するようスカウトして下さったのです。

ピアニストになることを夢見てそれなりに頑張ってきていたものですから（葛藤の中、挑戦した鎌倉市学生音楽コンクールのピアノ部門では3位入賞しました！）、すぐに決断出来たわけではありませんでしたが、児島先生の粘り強い口説きに根負けし……（笑）、声楽の世界へと足を踏み入れることになりました。（次号へつづく）

市原 愛



市原 愛 Ai Ichihara

東京藝術大学を経て、ミュンヘン国立音楽大学大学院に学び、その後ミュンヘンのプリンツレゲンテン劇場、バイロイトの辺境伯歌劇場、バーデン州立歌劇場、アウグスブルクのゲッギングン・クアハウス劇場、アウグスブルク歌劇場（専属ソロ歌手）、ハンブルガー・カメラータ、ミュンヘン放送管弦楽団に客演。国内では、読売日響、都響等との共演やリサイタルなどで活躍。2013年12月のトリノ 王立歌劇場日本公演ではヴェルディ「仮面舞踏会」でオスカル役に、2015年2月～4月には錦織健プロデュース・オペラVol.6「後宮からの逃走(モーツアルト)」の全国ツアーでプロンデ役に起用され、その歌唱力と演技で聴衆を魅了した。

2015年10月にファーストアルバム「歌の翼に」（オクタヴィアレコード）をリリース。

■オフィシャル・ホームページ <http://www.aiichihara.com/>



今号の1枚



ピアノを学んでいた、
中学生時代の市原愛さん

恩師・佐野幸枝先生主催の虹音会発表会にて



Vol.12
掲載



戸塚区のスーパースターと共に

THE LEAPSの楽曲「HAPPY BIRTHDAY」のプロモーションビデオ！

特別に戸塚区長の許可を頂き……戸塚区総合庁舎8階にあります屋上庭園にて撮影しました♪

スペシャルゲストには戸塚のスーパースター・マスコットキャラクター「ウナシー」も友情出演してくれました。（その時撮影されたビデオはYouTubeにて視聴できます♪）

Vol.15
掲載



番外編・「SAKURA」巻頭インタビューに!?

2016年3・4月号にはなんと表紙＆巻頭インタビューに登場！（涙）

2人の出会い、そしてバンド結成秘話や新たな夢に向かって…笑顔溢れる内容をたくさんお話させていただきました。



Vol.16
掲載

駆け足で振り返ってみましたが、「行ったるチャン！」を通してたくさんの方々に触れ合い、そして「音」をお届けするという……まさに、ミュージシャンシップに則った素敵な体験ばかり。自称・ご長寿連載として今後の野望は……！？

「スポーツ体験をしてみたい！アーチェリーとかボルダリングとか」というなんとも斜め上のコメントが聞こえきました。

さあ、これからますます見逃せないTHE LEAPS。次回はどこへ行ったるチャン！？

THE LEAPS(ザ・リーブス)

横浜市戸塚区出身。幼なじみ同士のGt&Vo.MAYOUとDr&Vo.NANA-Aからなる2ピースバンド。今夏は日比谷野外大音楽堂「NAONのYAON」や戸塚公会堂「Rockin'TOTSUKA 77」出演！とても夏フェスに縁があります。7/8に新アルバム「ツーピース！」リリース☆



Vol.11
掲載



Vol.14
掲載



13

さくらプラザコンサートスケジュール

隔月、金曜夜8時、ベートーヴェンのピアノの調べに酔いしれる。

若林 頸セルフプロデュース ベートーヴェンピアノ・ソナタ全32曲

各公演ともに全席指定 前売2,000円／当日1,500円
学生1,000円

Vol.14 7/15(金)

Vol.15 9/30(金)*

Vol.16 11/11(金)

Vol.17 1/13(金)

Vol.18 3/17(金)*

各回20:00開演

*…アンコール公演

3年目を迎えた「ベートーヴェンピアノ・ソナタ全32曲」シリーズの中で、好評を博した曲を再び演奏します。



ぱんだ！ いやいや こぱんだが戸塚にやってくる♪

こぱんだウインドアンサンブル 夏休みファミリーコンサート

7/23(土) [第1回] 11:00
[第2回] 14:00

各回 全席指定 一般800円

こども500円／親子1,000円

※4歳以上有料。0~3歳児はひざ上での鑑賞の場合のみ無料。



【同時に開催】 さくらプラザ オープンデー 2016
真夏のこども探検隊 7/23(土)9:30~16:00

共催 春風亭小朝 独演会

8/20(土) 13:30

全席指定 3,500円

※さくらプラザでは窓口のみ取扱い。



AROUND THE WORLD 世界を音で旅しよう！

山崎千裕+ROUTE14band ～夜空のトランペット～

8/27(土) 14:00

全席指定

一般2,500円

横浜市民2,000円

ペアチケット3,500円

※ペアチケットはさくらプラザのみでの販売となります。



掲載された方には、お好きなさくらプラザ主催公演*チケットをプレゼント！*ご要望に沿えない場合もございます。あらかじめご了承ください。

●氏名 ●掲載用ペンネーム ●ご住所 ●お電話番号を必ず記載の上、郵送もしくはメールにてお送りください。

※ご記入いただいた個人情報は、当コーナーの目的以外には使用いたしません。※200文字程度におまとめください。※誌面の都合上、原稿を一部修正させていただくことがあります。



チケットはお電話(045-866-2501)でご予約いただけます。(一部除外あり)
詳細はチラシをご覧ください。出演者・曲目などは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※学生券をお買い求めの際は学生証を必ずご提示ください。

デビュー15周年、“音の詩人”が贈る
とておきのCD制作秘話と美しき音色

ギタリスト大萩 康司CDリリース記念 特別レクチャーコンサート

9/10(土) 14:00

全席指定 1,500円



©ピクターエンターテインメント

爽やかな風の中に響き渡る優雅なフルートの音色

山形 由美デビュー30周年 CD発売記念リサイタル ～パリの風にのって～with 菅野潤(ピアノ)

9/22(木・祝) 14:00

全席指定 一般2,500円

ペアチケット4,500円

学生1,500円



Ticket さくらプラザ電話予約
7/7(木)14:00～

*窓口販売は翌日9:00から

さくらプラザ × 横浜音祭り2016

シェトラー(Pf) & フライシュマン(Vn) デュオ・コンサート

9/23(金) 14:00

全席指定 1,000円



どこができると耳にしたことのある馴染み深い名曲を、演奏者の息づかいまで聴こえるような距離で。

名曲サロン Vol.2

「夏を彩る美しきヴァイオリンの調べ」

さくらプラザサポートアーティスト 大澤理菜子(Vn)
吉原清香(Pf)



8/24(水) [第1回] 11:30

[第2回] 14:30

全席自由 500円

会場：さくらプラザ リハーサル室

*第1回(11:30開演)は未就学児入場可
(0~3歳児はひざ上での鑑賞の場合のみ無料)

戸塚区民文化センター さくらプラザ

TEL: 045-866-2501 FAX: 045-866-2502

〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町16-17
戸塚区総合庁舎 4F

<http://www.totsuka.hall-info.jp>

event@totsuka.hall-info.jp



Vol.18

7・8月号

編集後記

前号に続き、今号も4ページ増でお届けしています。ボリューム満点の巻頭3本立てインタビューをはじめ、各連載もお楽しみください！（桑田）